

療育理念や支援の方針について

はじめに

ASTEP では、お子さん一人ひとりが「より良く、より強く生きる」ことを目指し、長期的に成長を支援することを理念に掲げています。私たちは、放課後等デイサービスという補助的な役割を踏まえつつ、ご家庭や学校と密に連携を図りながら、お子さんの将来を見据えた包括的な療育プログラムを提供しています。

以下、ASTEP が大切にしている理念や支援方針について、いくつかの重要なポイントを整理しています。お子さんの成長において、私たちがどのようなサポートを提供し、どのような視点を持って取り組んでいるのかをご理解いただけることを願っています。

1. 療育プログラムと支援の方針

▶ 療育の目標

ご家庭や学校と密に連携し、お子さんの成長を支えます。学校には必要な情報を提供し、ご家庭には日常での関わり方のアドバイスをを行いながら、共に最適な支援を進めていきます。

▶ 療育の補助的役割

家庭・学校・療育施設が連携し、一貫した支援が行えるよう調整しています。お子さんが安心して過ごせるよう、生活全体で統一したサポートを提供し、各環境での学びや成長が無理なく繋がられるよう配慮します。

▶ 保護者支援の重視

保護者の元気や安心が、お子さんの成長に大きな影響を与えと考え、保護者のサポートにも力を入れています。育児の不安や負担を軽減するために、相談やアドバイスを行

い、保護者の方が安心してお子さんを支えられるよう、包括的な支援体制を整えています。

▶ 長期的な視野での支援

短期的な目標達成だけでなく、お子さまの将来を見据えた長期的な成長を支援しています。自立や社会での活躍を目指し、生活スキルや社会性、自己肯定感を育むことで、お子さんが「より良く、より強く生きる」ための基盤を築いていきます。

▶ 「見守り」ではなく「療育」

ただ見守るだけでなく、一人ひとりの評価に基づいた計画的な療育を行っています。テレビやゲームに頼らず、個別支援計画に沿った活動やプログラムを通じて、発達を促し、質の高い専門的なサポートを提供しています。

▶ 包括的な支援体制

療育だけでなく、日常生活全般にわたるサポートを提供しています。日常の生活スキルや対人関係のサポートに加え、将来的な就労支援や進学支援も視野に入れ、自立した生活を送れるよう、長期的なサポートを行っています。

▶ 柔軟で創造的なプログラム提供

パッケージ化されたプログラムではなく、お子さんの興味や関心に応じて、柔軟に課題を構成しています。工作や音楽、運動などの創造的な活動を取り入れ、遊びを通じて自然に学べる環境を提供し、楽しみながら社会性やスキルを育てる場を作っています。

2. 家庭・学校との連携と役割

▶ 家庭・学校との連携の重要性

お子さんの成長を支えるために、ご家庭や学校との密な連携を大切にしています。三位一体でサポートを行うことで、各場面でお子さまが統一された支援を受けられる環境を整えています。学校には必要な情報を提供し、ご家庭には日常生活での関わり方について具体的なアドバイスをお伝えします。

▶ 一貫性のある支援

家庭、学校、療育施設が連携し、支援に一貫性を持たせることで、お子さんがどの場面でも安心して過ごせるよう配慮しています。生活全体で統一されたサポートを提供し、お子さんが環境の変化にも適応しやすいようにしています。

▶ 保護者との双方向コミュニケーション

療育の進捗状況やお子さんのご家庭での様子について、保護者と継続的にコミュニケーションを取ります。療育のフィードバックについては、連絡帳ではなく『療育日誌』を用いて丁寧に行い、保護者の方と共にお子さんの成長を見守りながら、より良い支援を進めていきます。

3. 個別支援と評価

▶ 個別支援計画の重視

全支援員の視点をもって、お子さん一人ひとりの特性やニーズに応じた個別支援計画を作成し、その計画に基づいた支援を提供しています。定期的に計画を見直し、状況に応じて適切な調整を行うことで、お子さんに最も効果的なサポートを行っています。

▶ ペースに合わせた目標設定

お子さんの成長速度に合わせて無理のない目標を設定し、小さな成功体験を積み重ねることで、自己効力感を高めています。少しずつ自信を持って新たな挑戦ができるよう関わりを検討しています。

▶ 継続的なフィードバックと評価

お子さんの成長や療育の進捗状況を定期的に保護者の方に報告し、フィードバックを行います。お子さんの状況に応じて支援内容を柔軟に見直し、長期的な成長を確実に支えます。

4. 成長を促すアプローチ

▶ 個性を尊重した子ども中心のアプローチ

主人公はお子さん、それぞれの個性や特性を大切に、それぞれに合ったアプローチを採用しています。お子さんが主体的に考え、自身のペースで行動できる環境を整えることで、自立心と意欲を育みます。

▶ 自己肯定感の育成

お子さんが自分に自信を持ち、前向きに成長できるよう、成功体験を通じて自己肯定感を高める支援を行っています。自分に対する肯定的な感情を育て、挑戦を続ける力を引き出します。

▶ 自己表現の場の提供

ASTEPでの活動はとても幅が広く、さまざまな形でお子さんが自分を自由に表現できる場を提供しています。自己表現を通じて、感性や創造力を豊かにし、自分の内面を深く理解できるようサポートします。

▶ 感情面のサポート

ストレスや不安、喜びなどの感情を適切に表現し、コントロールできるよう支援しています。感情面でのサポートを通じて、精神的な成長を促し、より健やかに生活できる力を育みます。

▶ 遊びを通じた学び

遊びを通じて、社会性や問題解決能力を身につけられるようサポートします。遊びの中で学びの要素を取り入れ、成長の手助けとなるプログラムを提供しています。

▶ 生活スキルの習得 (LST)

日常生活に欠かせない基本的なスキル (LST: ライフスキルトレーニング) を、療育を通じて支援しています。衣食住の基本的な自立能力だけでなく、時間管理やストレスの

適切な処理方法など、実生活で役立つスキルを身につけられるようサポートしています。

▶ **社会スキルの育成（SST）**

ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通じて、集団活動や協働を通じて社会性や協調性を育てます。他者との関わり方やコミュニケーション能力を身につけ、社会生活に必要なスキルを磨きます。

▶ **「助けを求める力」の育成**

自立には、困った時に他者に助けを求める力も必要です。お子さんが適切にサポートを求められるよう、この力を育て、必要なときに助けを得られる環境を作り出します。

▶ **地域との連携**

地域社会との交流を大切にし、地域の中でお子さんが自分の居場所を見つけられるようサポートしています。地域活動への参加を通じて、社会の一員としての自覚を育てます。

▶ **社会参加の機会の提供**

地域社会や外部の活動に参加する機会を提供し、社会性を育てています。お子さんが自信を持って社会へ出られるように、さまざまな体験を通じて準備を進めています。

5. 療育環境と技術の活用

▶ **安心感を与える環境づくり**

お子さんが安心して療育に取り組めるよう、信頼できる環境を提供しています。安心感を与えることで、自身の成長に対して積極的になることを目指します。

▶ **視覚的・聴覚的な支援の工夫**

スケジュールボード、順番票、手順書、ワークシステムなど、お子さんの感覚に合わせて、視覚的・聴覚的な支援ツールを用いています。視覚的にわかりやすく、また聴覚的なサポートを取り入れた療育方法で、学びの効果を最大化します。

▶ICTを活用した療育

PCやタブレットを使ったICT技術を活用し、お子さんが興味を持ちやすい形で療育を提供しています。テクノロジーを通じて、療育の幅を広げ、より効果的な学びを促します。

6. チームとしての支援体制

▶チームでのアプローチ

保護者、学校、医療機関など、複数の専門家が連携しチームとしてお子さんを支援します。多職種の協働により、包括的で総合的なサポートを提供し、さまざまな側面からお子さんの成長を支えます。

▶保護者支援と就労に関する支援

保護者のサポートも重要と考え、就労支援や家庭全体の安定を目指したサポートを行います。保護者が安心してお子さんを支えられる環境を整えることで、お子さんの成長がより効果的に促進されます。

▶ご家族全体をサポートする視点

お子さんだけでなく、ご家族全体をサポートする視点を持ち、親子関係の改善やご家族全体の幸福を目指した支援を行っています。家族全体が健やかに生活できるよう、長期的なサポートを提供します。

さいごに

ASTEP では、お子さん一人ひとりを正確に評価し、その効果を見極めた上で活動プログラムを実践しています。しかし、療育の時間は限られており、当事業所での療育だけでは対応に限界があるのも事実です。

そのため、より効果的な成長を促すために、日常生活の中心であるご家庭や学校との連携を非常に重要視しております。放課後等デイサービスはあくまで補助的な役割を担うものですが、ASTEP ではその立場を踏まえつつも、保護者支援や就労支援など、一歩踏み込んだサポートを行うことを理念に掲げ、日々活動を展開しています。

療育の評価は、毎回保護者の方にお伝えし、効果の定着を図るためにご家庭での関わり方のヒントをご提供しています。また、学校への情報提供も積極的に行い、三者が連携してお子さんを支える体制を整えています。さらに、保護者の皆様には、お子さんの日々の生活の様子などについて情報共有をお願いしています。

私たちは、家庭・学校・事業所が三位一体となり、お子さんやご家族が『より良く生きる、より強く生きる』ことを実現できるよう、幅広く長期的な支援を提供していきます。

同時に、『子どもが元気になるためには、親が元気であることが必要』という考えのもと、ご家族全体を支援し、より良い関係を築いていきたいと願っています。

ASTEP では、単に「見守り」を行うのではなく、「療育」を行います。そのため、アニメや映画を常時流したり、テレビゲームで時間を過ごすような支援は行っていません。それは、療育の本質とは異なり、お子さまの人権を軽視する行為だと考えているためです。そのため、テレビやモニター類は一切設置しておらず、ICT を活用した療育にのみ、PC や iPad を使用します。

見学や個別説明会では、当事業所の理念についてさらに詳しくご説明させていただきます。共感いただけることを心より願っています。